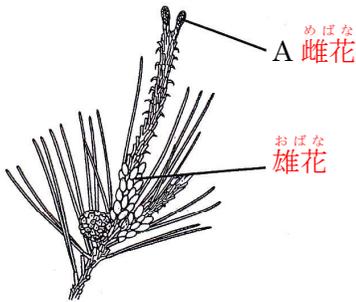
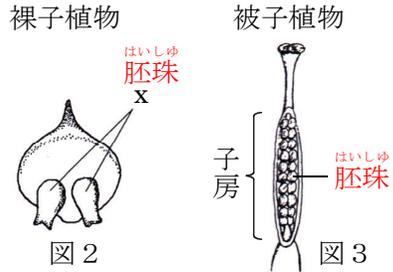


7 (ア) マツの雌花のりん片はどこから採取できるか。



答 1. Aの部分から採取できる。

(イ) 図2のXの部分の説明として最も適するものを一つ選びなさい。



4. 図2のXは、図3の胚珠にあたるが、子房には包まれていない。

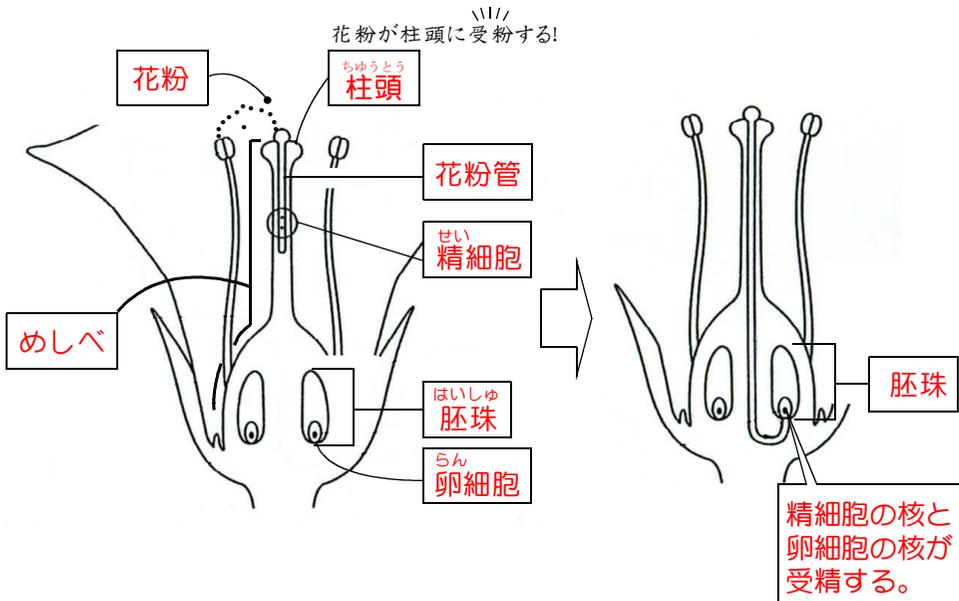
答

(ウ)

マツもアブラナも、花をさかせて をつくることで、なかまをふやし、子孫を残す。このように、 によってなかまをふやし、子孫を残す植物のことを 植物という。

答 種子

(エ) 花粉管について説明したものとして最も適するものを一つ選びなさい。



1. 花粉管は、花粉がめしべの柱頭につくと胚珠に向かってのび、精細胞を胚珠に送る。